

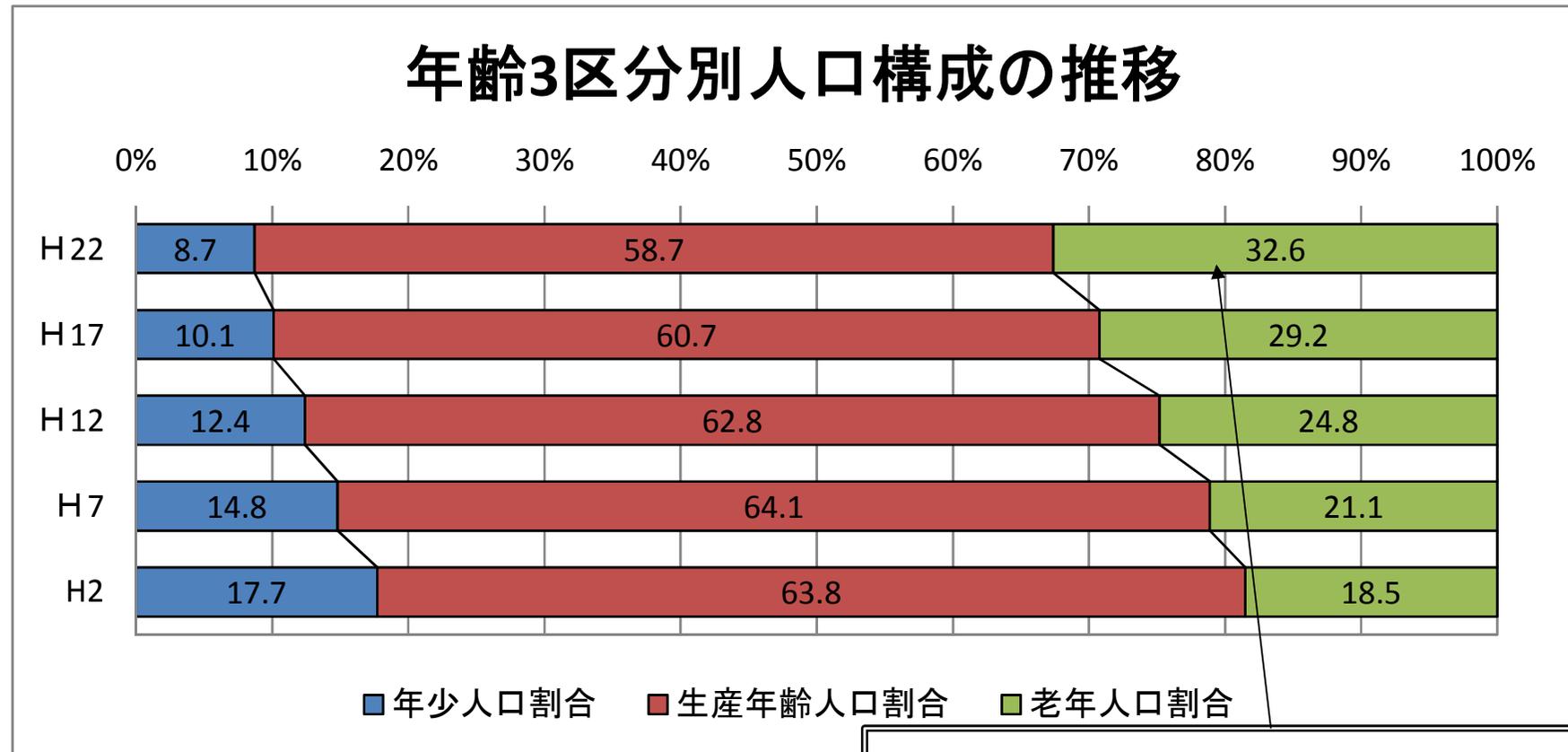
和束町人口ビジョン

現状分析資料

平成27年6月 和束町
NITOKEN

1 和束町の人口の現状分析

1 年齢別人口

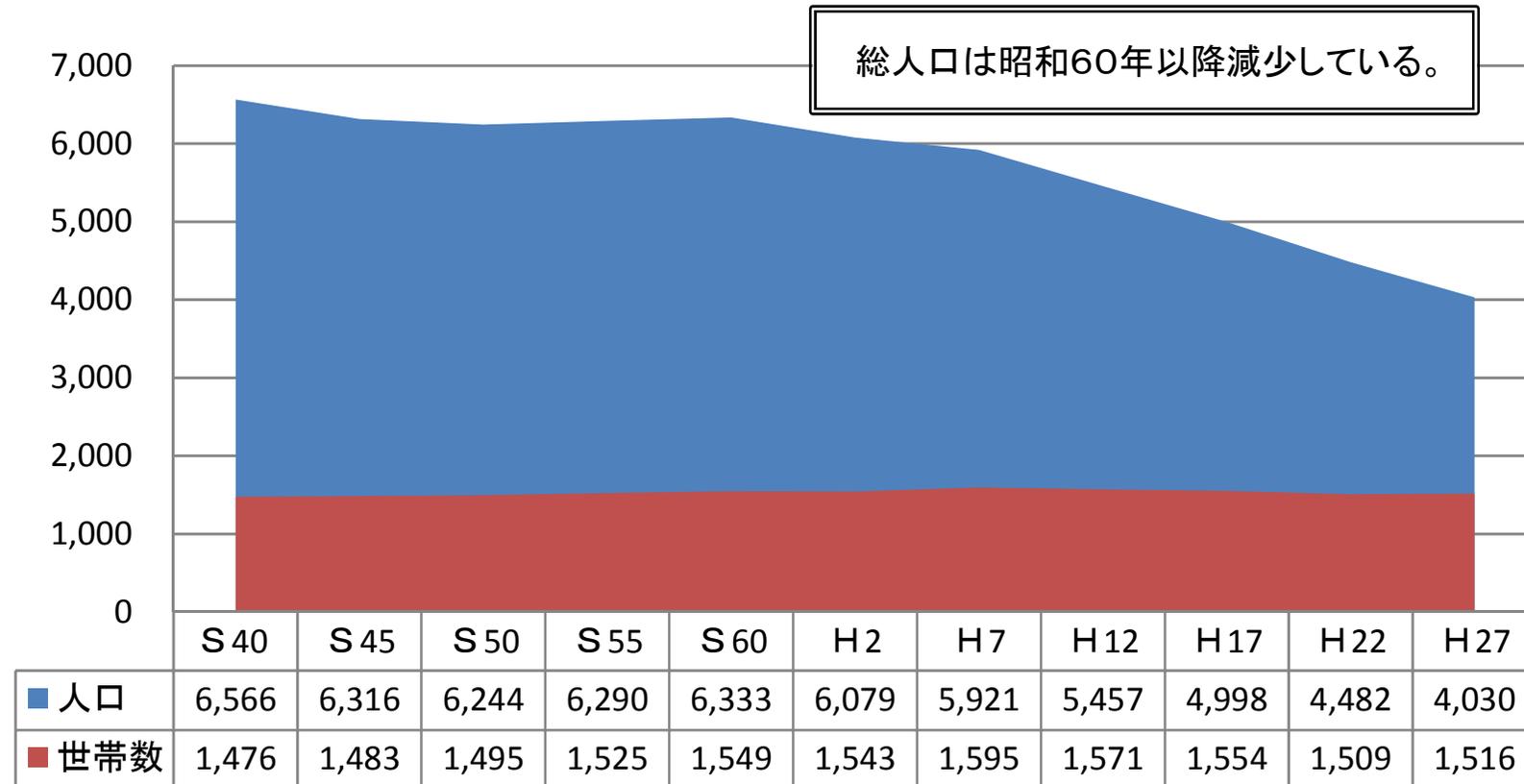


平成22年度の老年人口の割合が32.6%と全国(23.0%)、京都府(23.4%)を大きく上回っています。

1 和束町の人口の現状分析

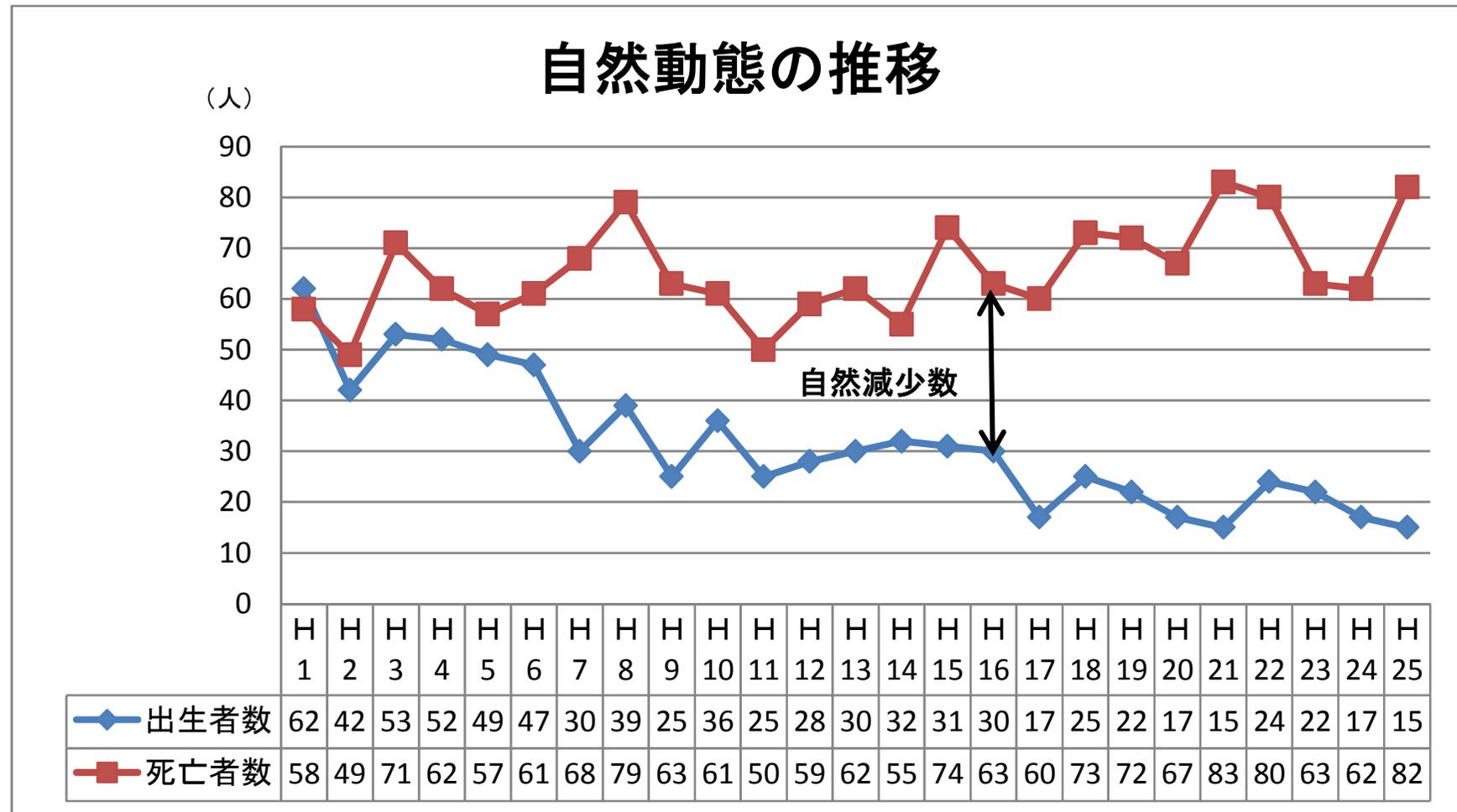
2 人口の推移

総人口・世帯数の推移



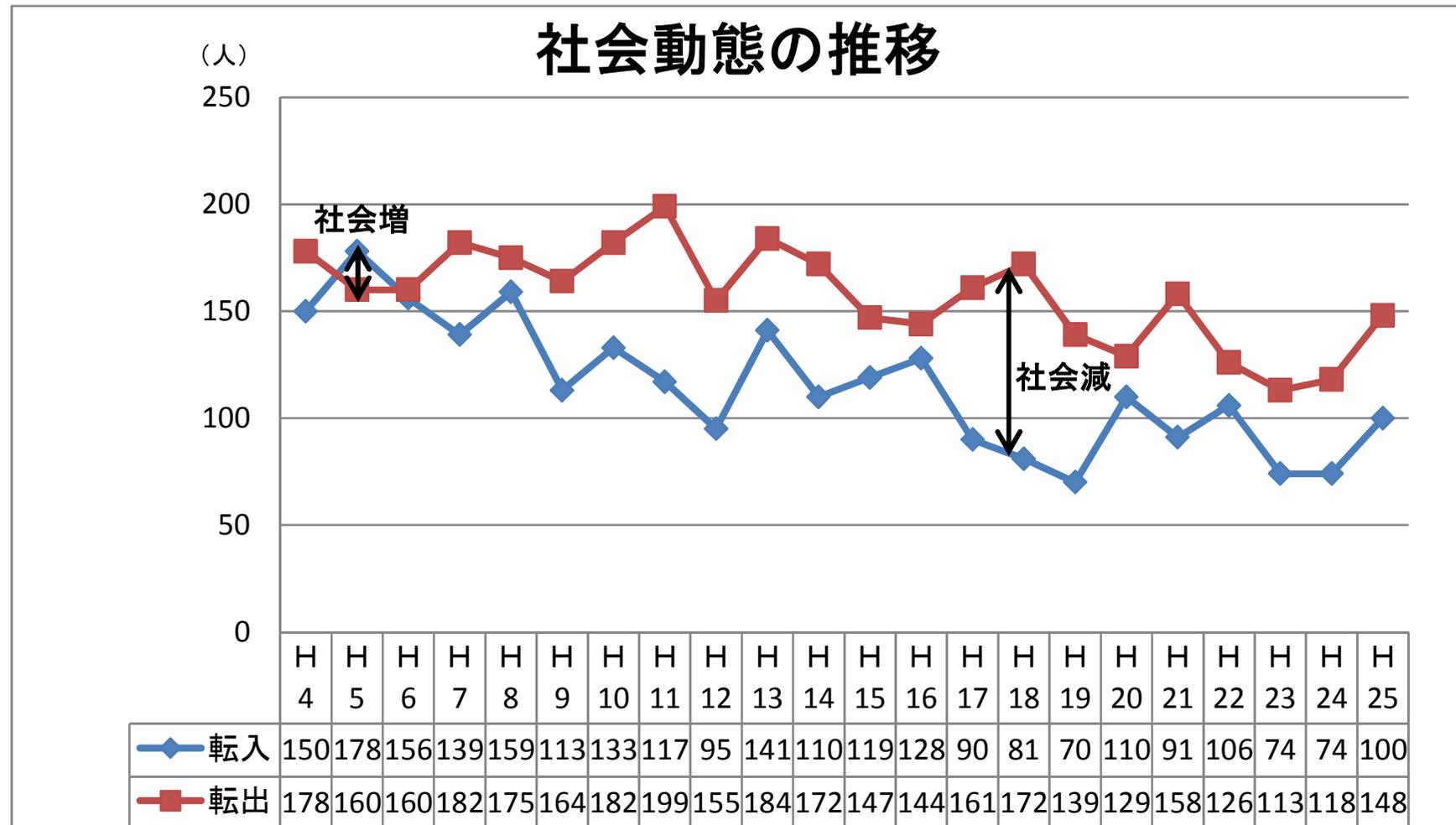
1 和束町の人口の現状分析

3 人口動態(1)



1 和束町の人口の現状分析

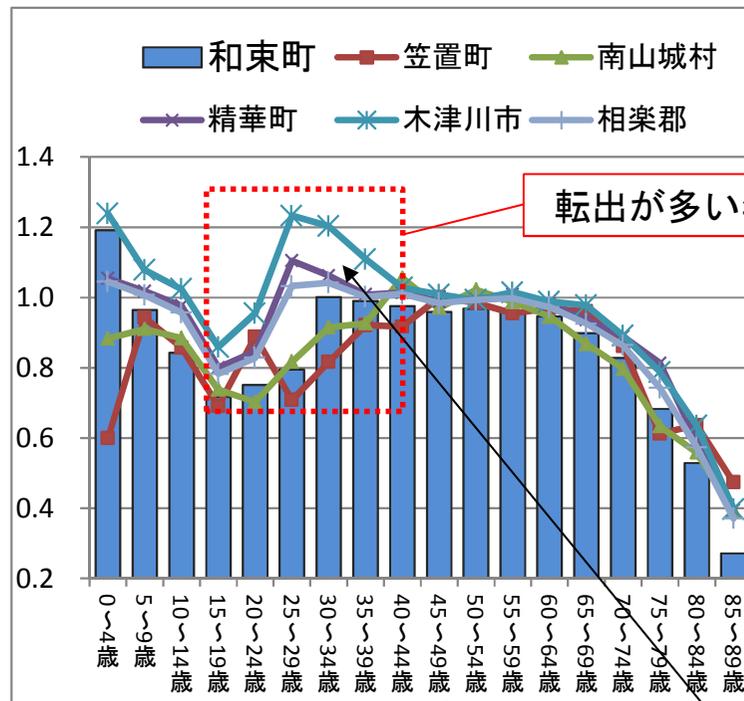
3 人口動態(2)



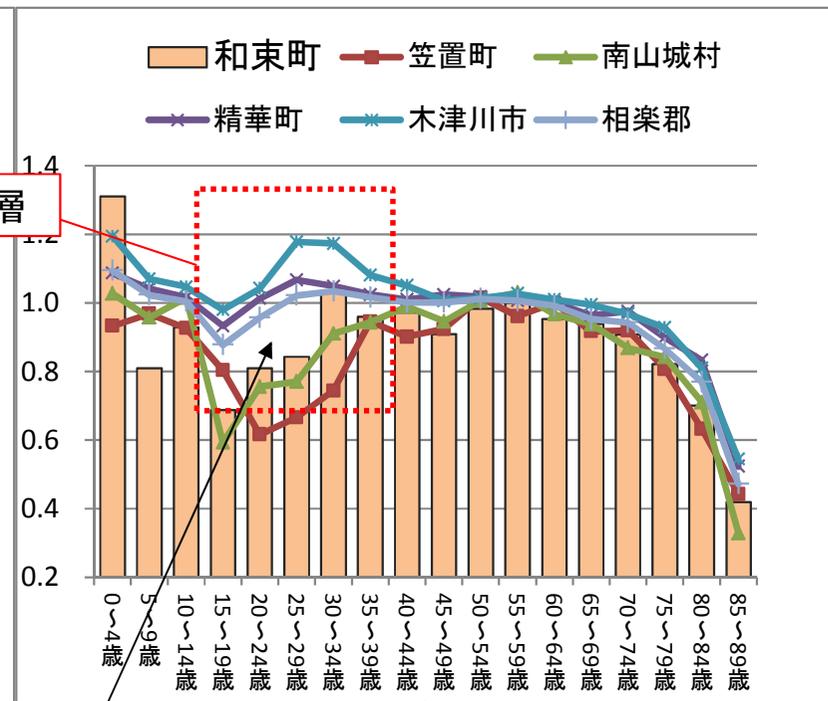
1 和束町の人口の現状分析

4-1 センサス変化率の比較

センサス変化率(2005年⇒2010年) 男



センサス変化率(2005年⇒2010年) 女

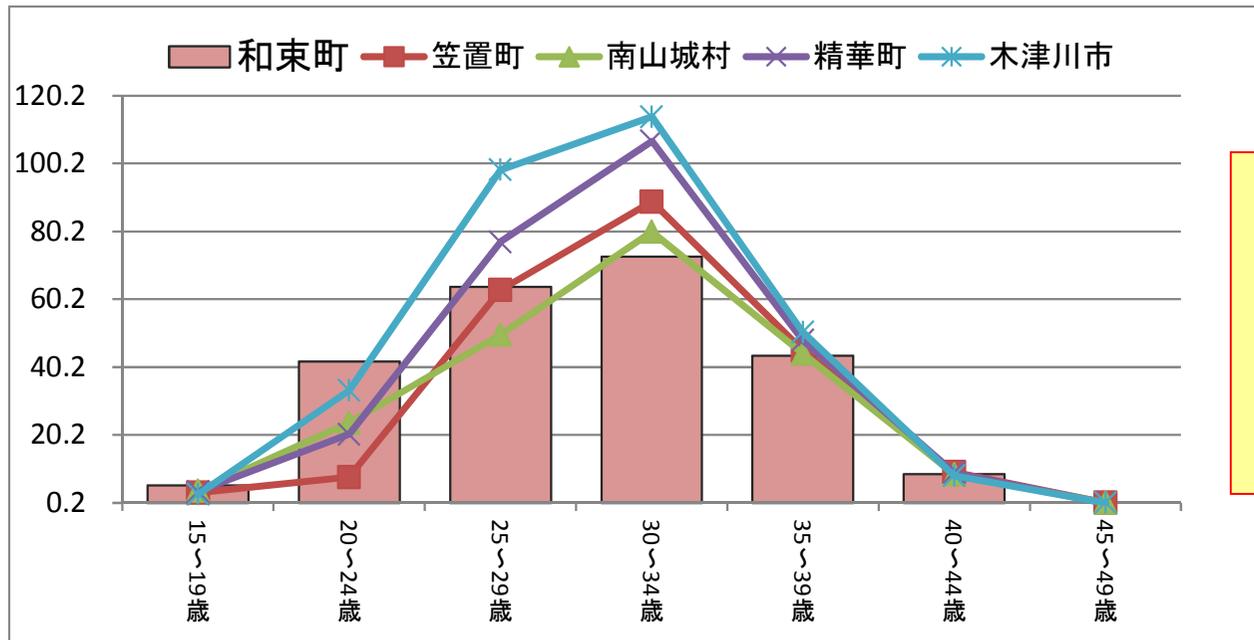


精華町や木津川市と比較すると、男女共に15歳～34歳の若者・子育て年齢層の転出が多くなっています。

1 和束町の人口の現状分析

4-2 出生率の比較

母の年齢階級別出生率

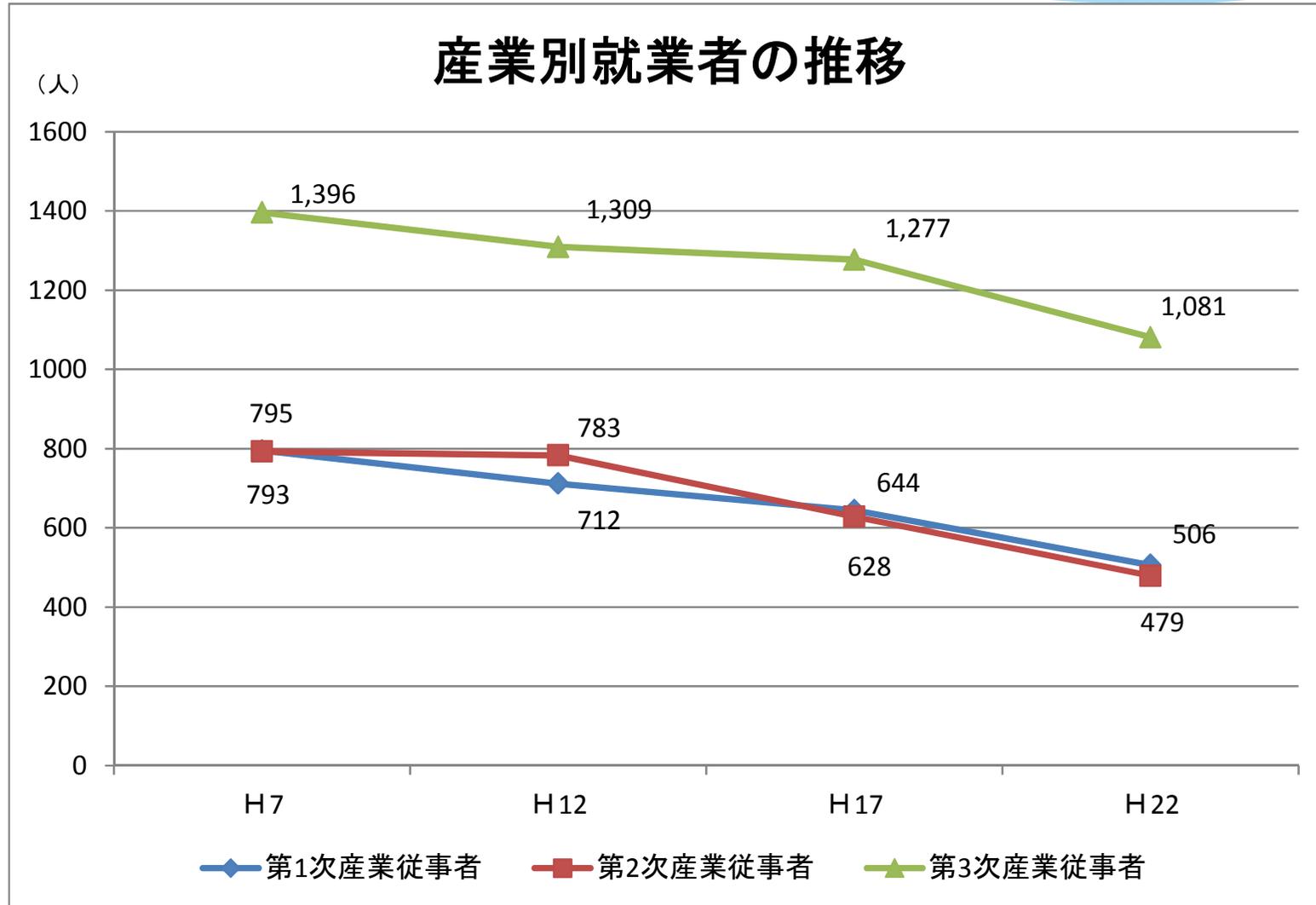


合計特殊出生率	
和束町	1.18
笠置町	1.09
南山城村	1.05
精華町	1.33
木津川市	1.54

近隣市町村では、精華町や木津川市の出生率が高く、和束町の25歳～34歳の母親の出生率が低くなっています。和束町の合計特殊出生率は1.18と低く、木津川市の1.54と比較すると0.36の差が生じています。

1 和束町の人口の現状分析

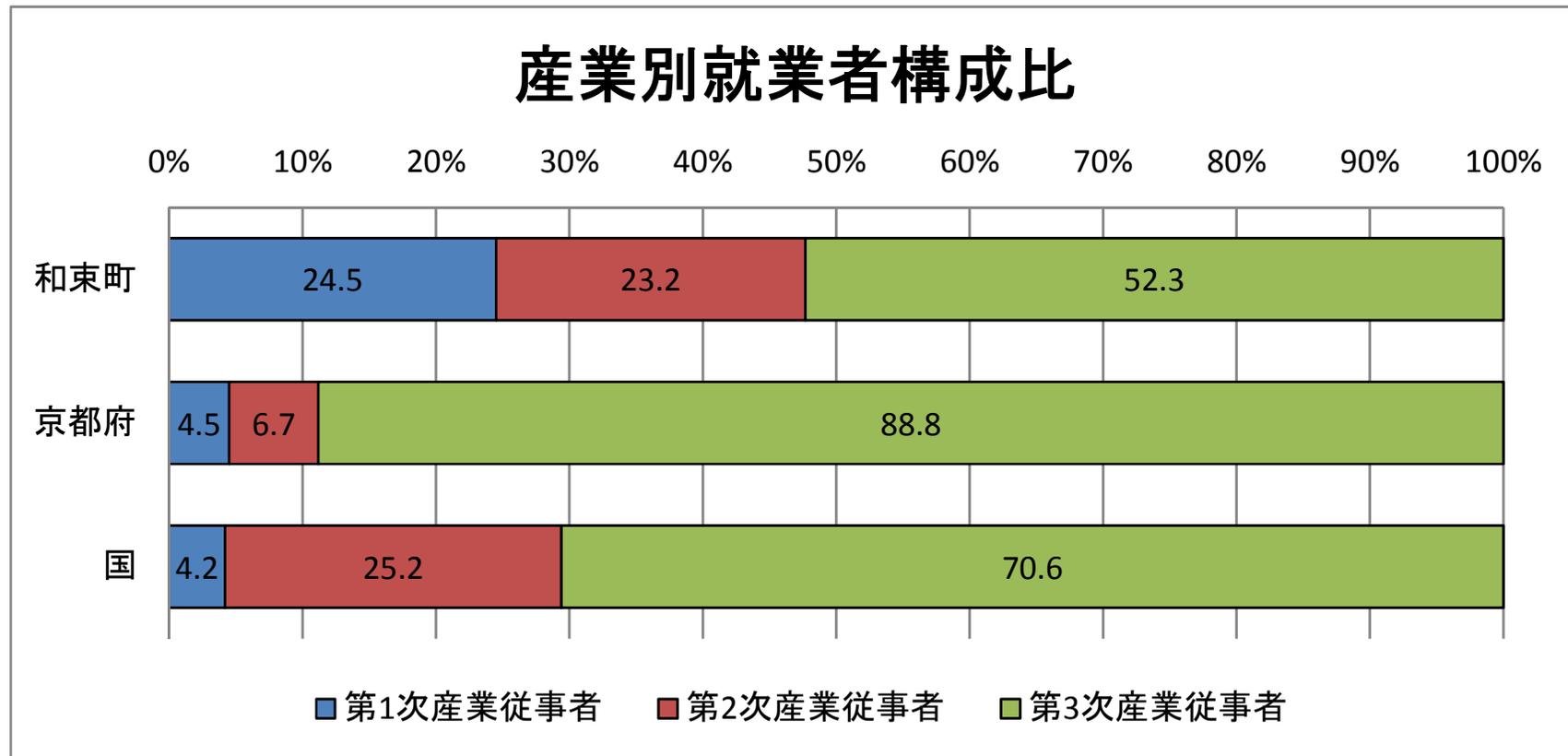
5 産業別就業者(1)



1 和束町の人口の現状分析

5 産業別就業者(2)

基幹産業である農業(茶業)を含む第1次産業の従事者が24.5%で、国(4.2%)、京都府(4.5%)に比べて圧倒的に多くの割合を占めています。

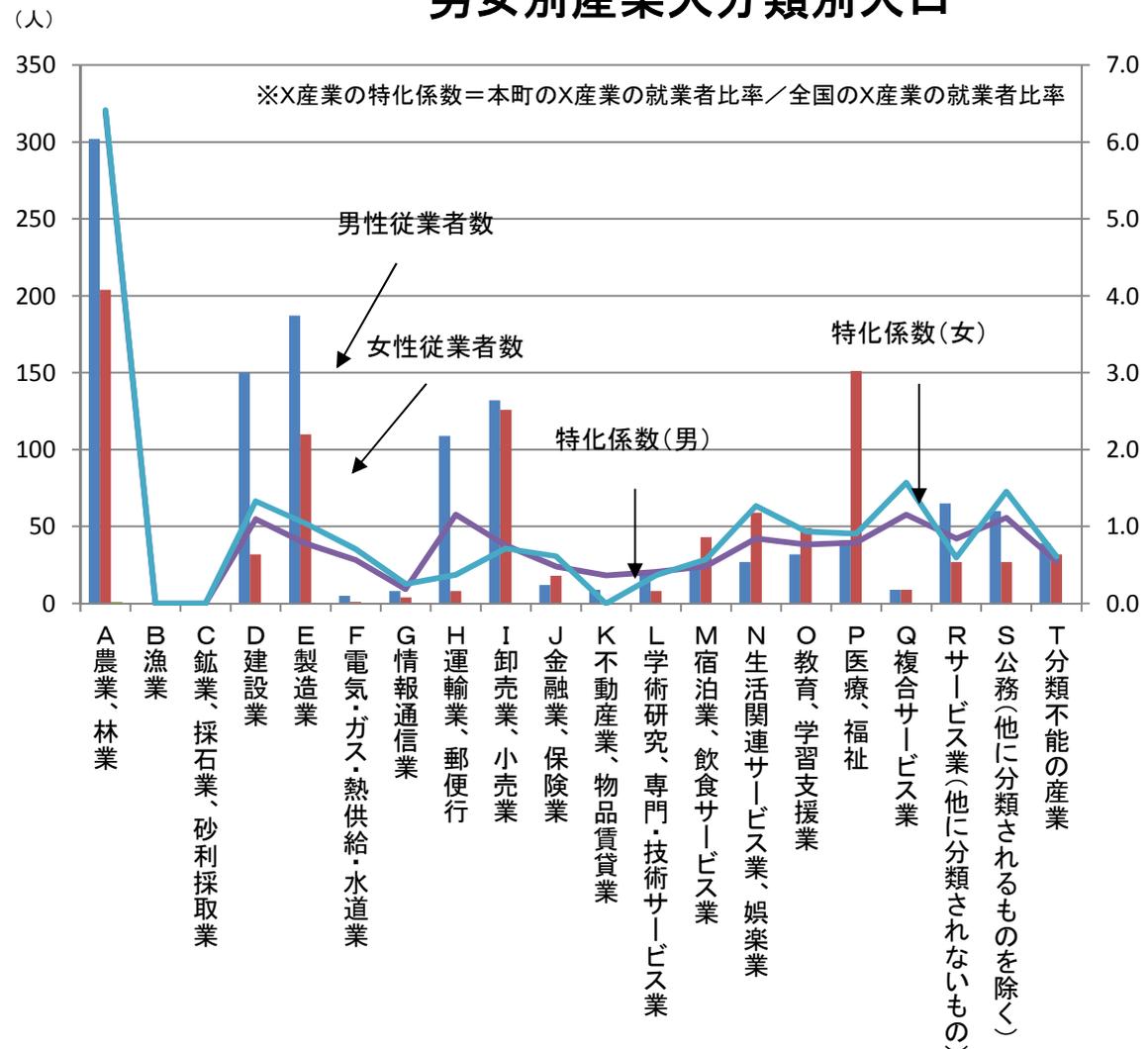


1 和束町の人口の現状分析

5 産業別就業者(3)

農業、林業従事者の割合が圧倒的に多く、特化係数は男女ともに6.4となっています。他に建設業(男女)、製造業(女)、運輸業(男)、生活関連サービス業、娯楽業(女)、複合サービス業(男女)、公務(男女)で特化係数が1.0を超えています。

男女別産業大分類別人口



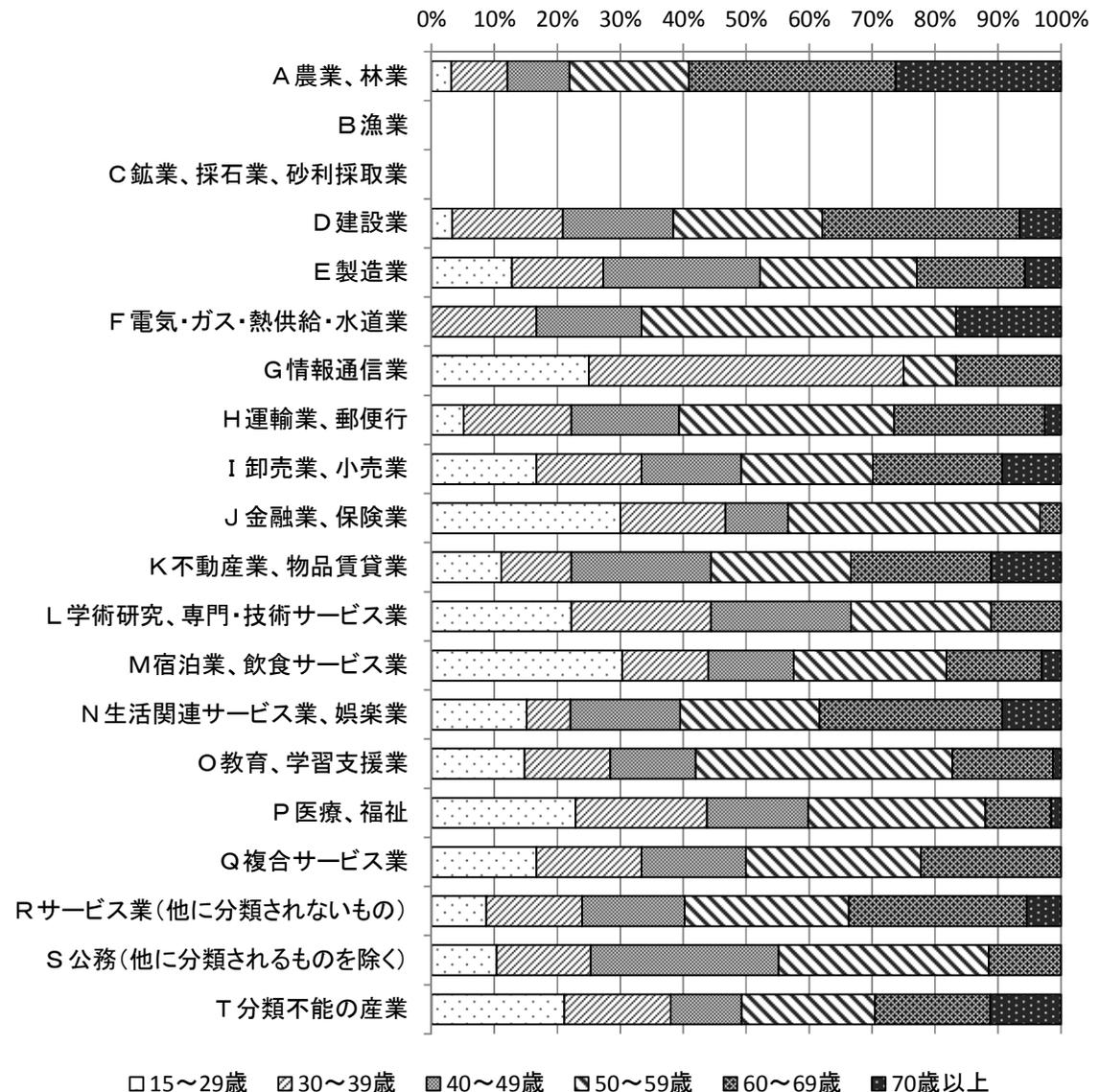
1 和束町の人口の現状分析

5 産業別就業者(4)

特化係数が最も高く、従事者数も最も多い農業、林業では、60歳以上が6割近くを占めており、高齢化が進んでいるため、今後就業者数が減少していく可能性があります。

製造業、卸売業、小売業では年齢構成のバランスがよく、幅広い年齢層の雇用の受け皿となっています。

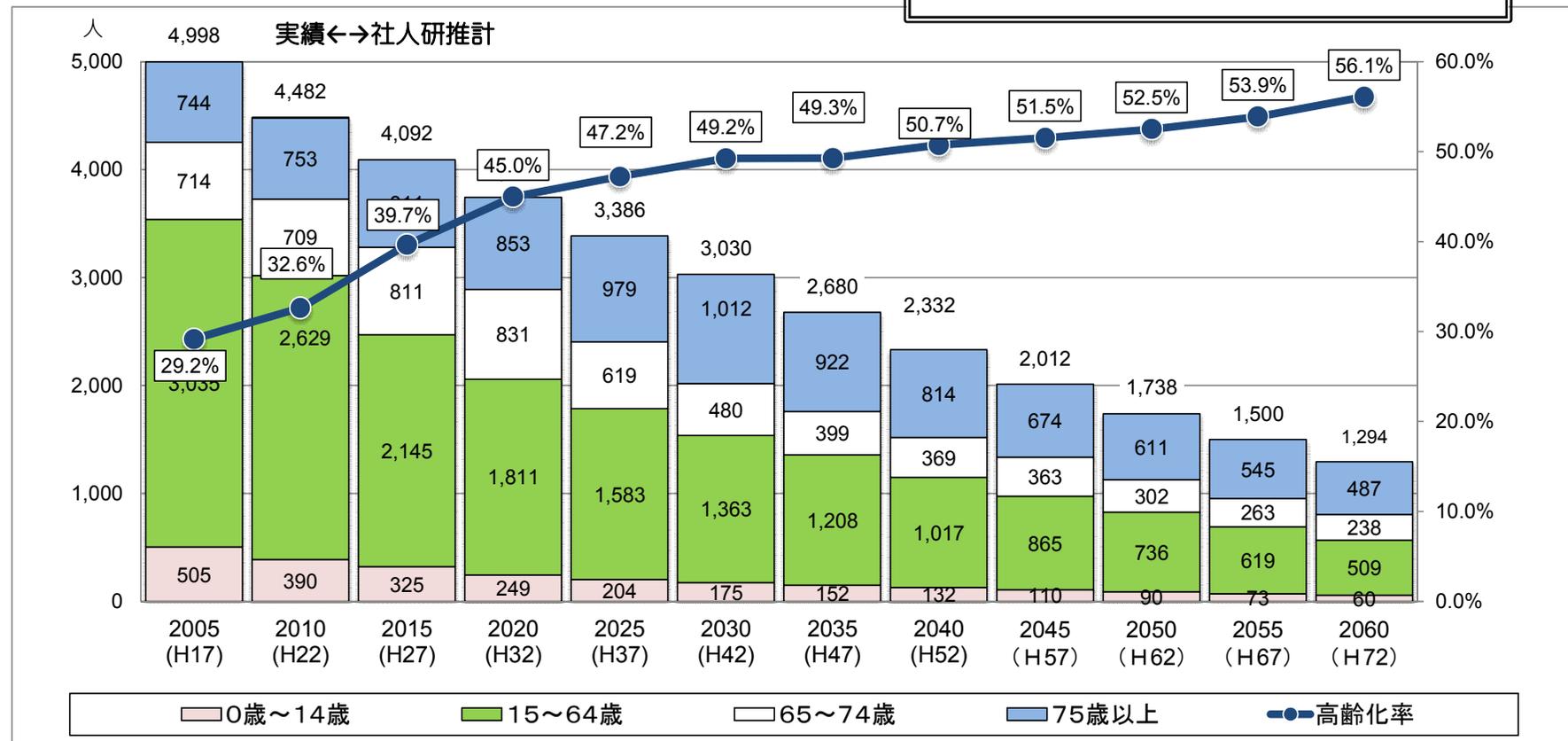
年齢階級別産業人口



2 将来の人口推計と分析

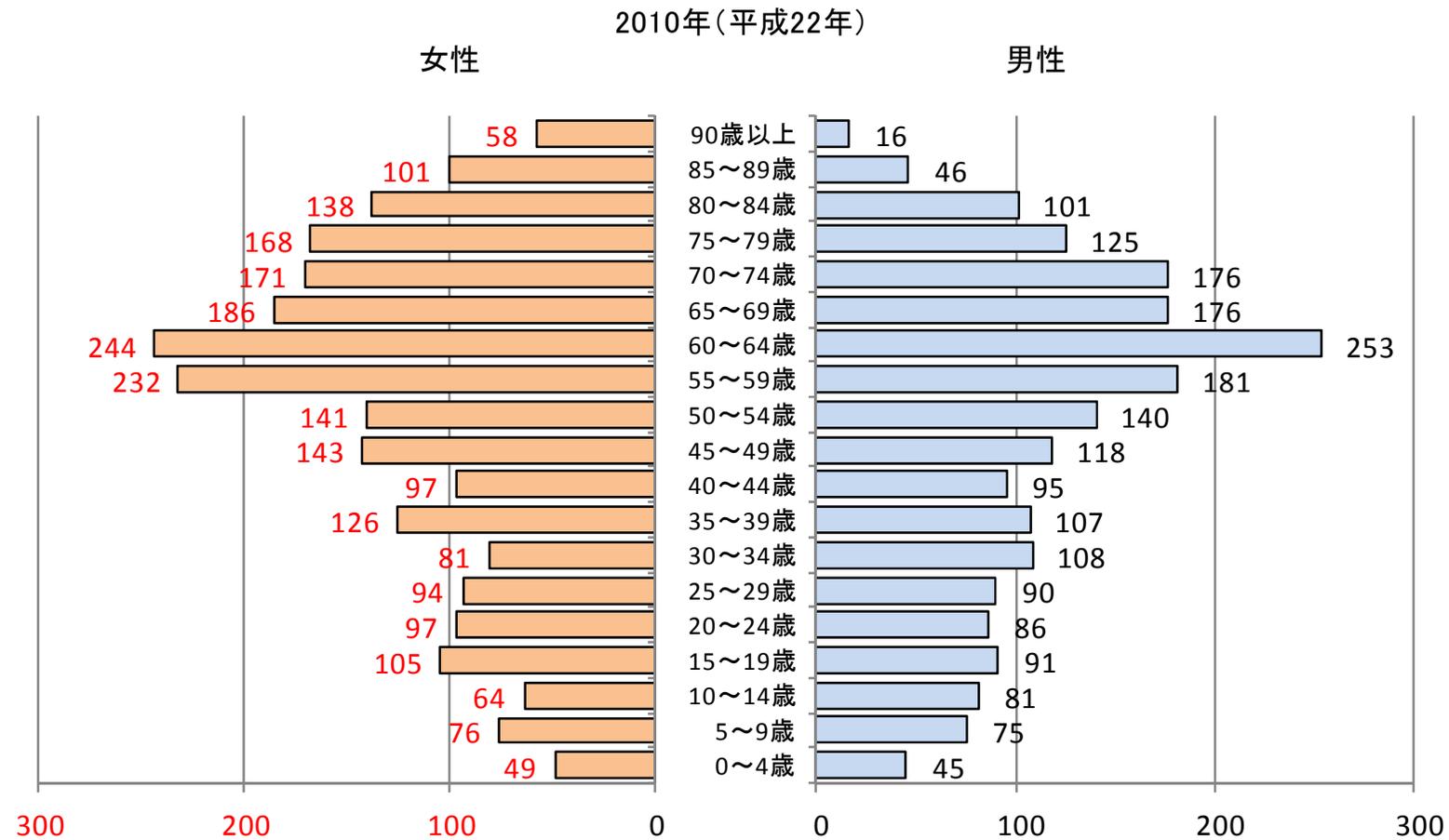
1 総人口・年齢別人口

社人研推計(国勢調査ベース)によると2060年には総人口1,294人、高齢化率56.1%となり、年少人口は60人に減少すると見込まれています。



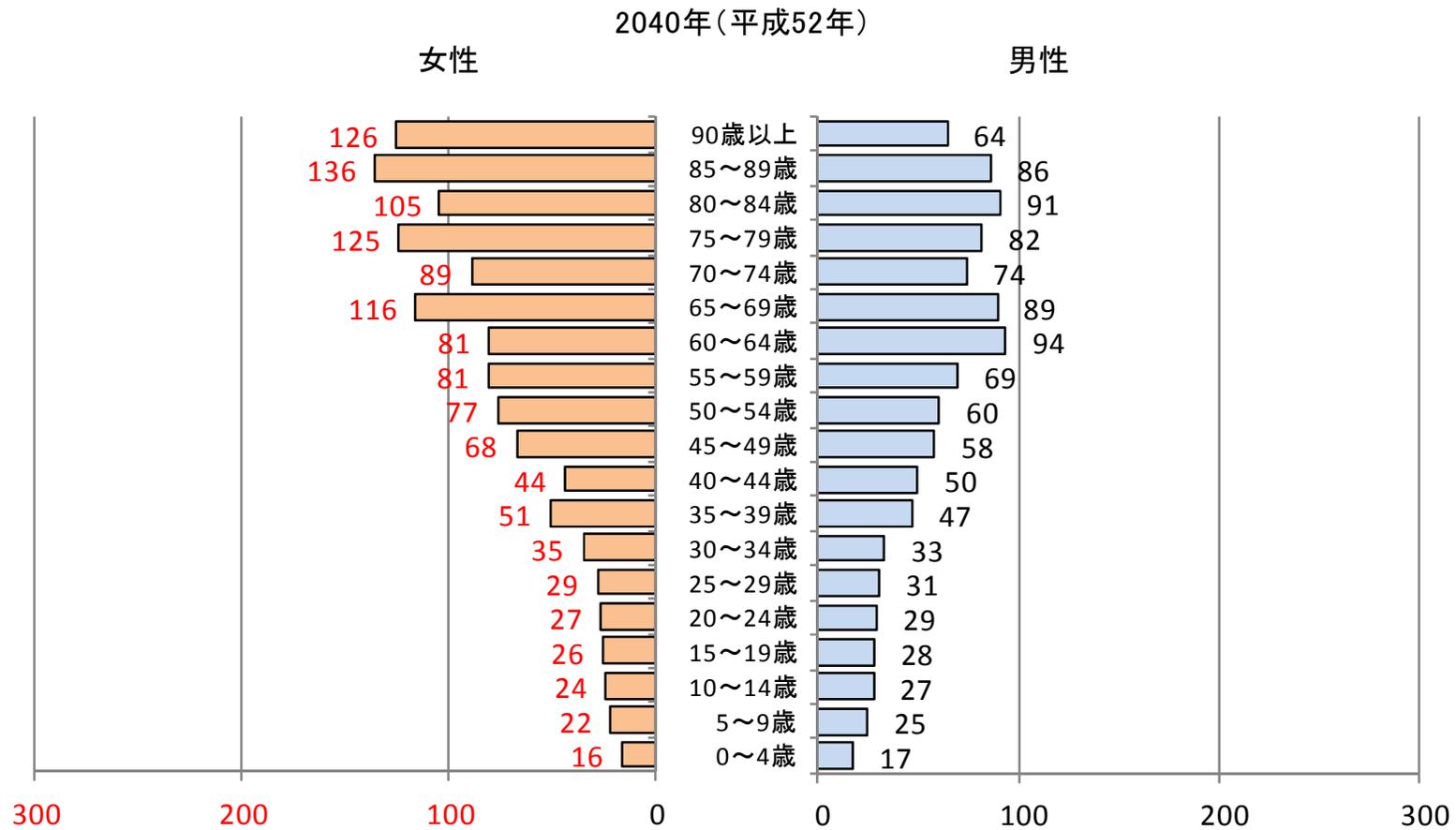
2 将来の人口推計と分析

○ 人口ピラミッドの推移(2010年)



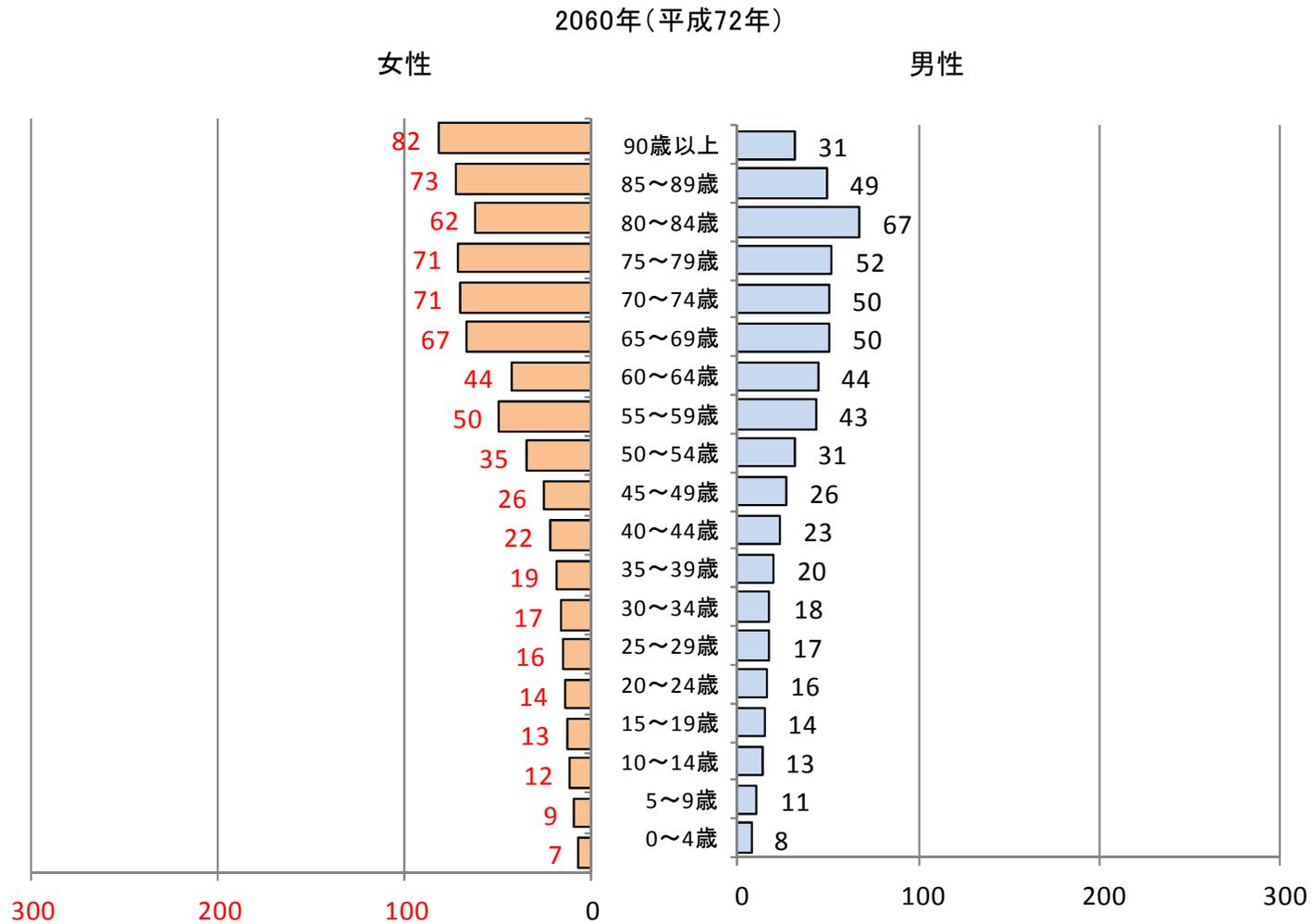
2 将来の人口推計と分析

○ 人口ピラミッドの推移(2040年)



2 将来の人口推計と分析

○ 人口ピラミッドの推移(2060年)



2 将来の人口推計と分析

2 将来推計の方法(1)

出生・死亡・移動について、一定の仮定を設定した以下の4つの推計方式を用いて将来人口を推計しました。

《推計方式》

《出生・死亡に関する仮定》

《移動に関する仮定》

I
(現状ベース)

2005年～2010年の人口動向を勘案し、将来人口を推計

全国の移動総数が縮小せずに2035年～2040年まで概ね同水準で推移すると仮定

人口移動が縮小

II

(Iと同様)

2005年～2010年の純移動率が2015年～2020年までに定率で0.5倍縮小し、その後はその値で推移すると仮定

合計特殊出生率が上昇

2 将来の人口推計と分析

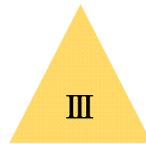
2 将来推計の方法(2)

合計特殊出生率が
上昇

《推計方式》

《出生・死亡に関する仮定》

《移動に関する仮定》



Ⅲ

合計特殊出生率が現状の
1.18 (H20~H24の
ベイズ推定値) から2030
年までに人口置換水準
(2.1) まで上昇すると仮
定

(Ⅱと同様)

人口移動が均衡



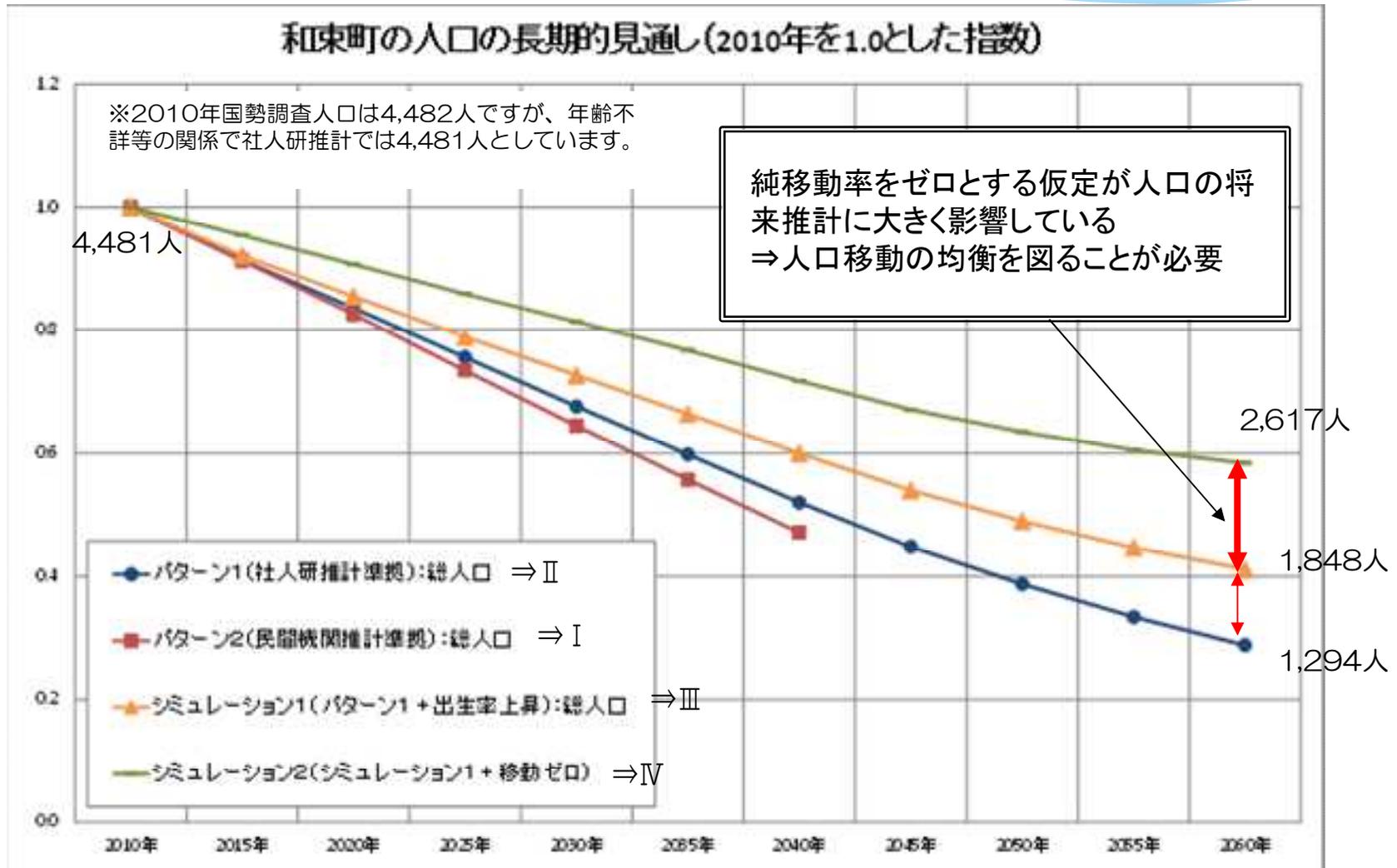
Ⅳ

(Ⅲと同様)

純移動率が2030年までにゼロ
(均衡) で推移すると仮定

2 将来の人口推計と分析

3 将来推計の結果

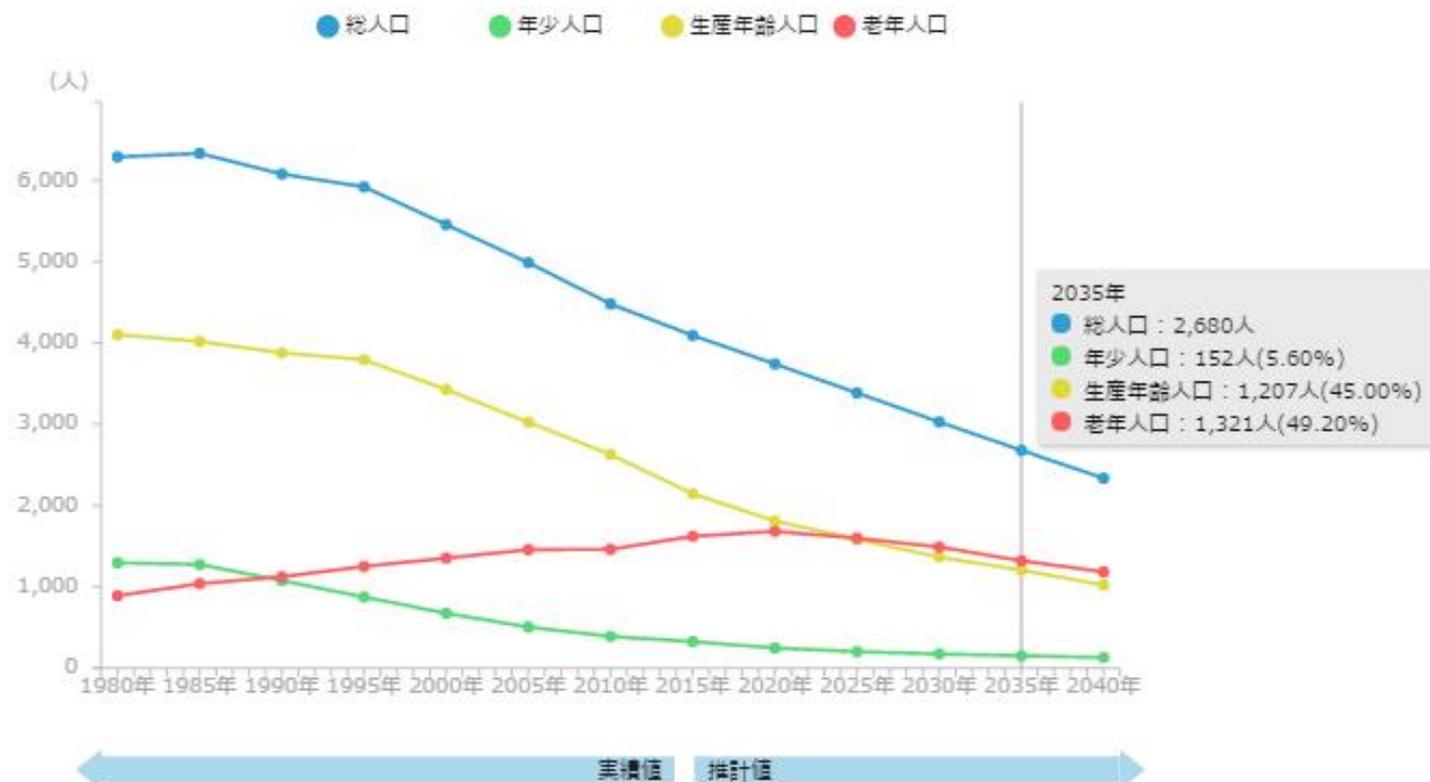


RESAS(地域経済分析システム)データによる分析

2025年以降、老年人口が生産年齢人口を若干上回ると推計されます。

人口推移

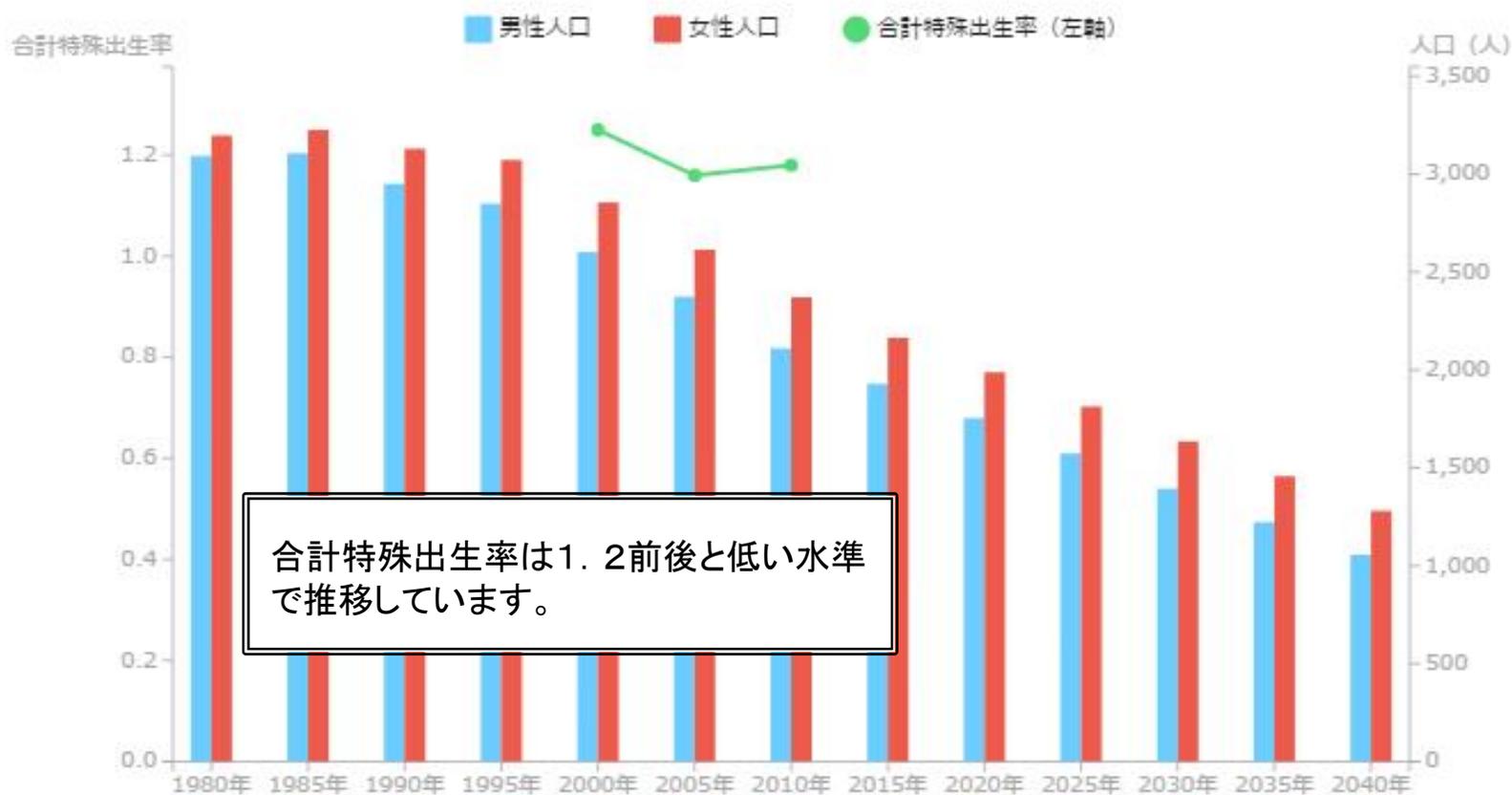
京都府和束町



RESAS(地域経済分析システム)データによる分析

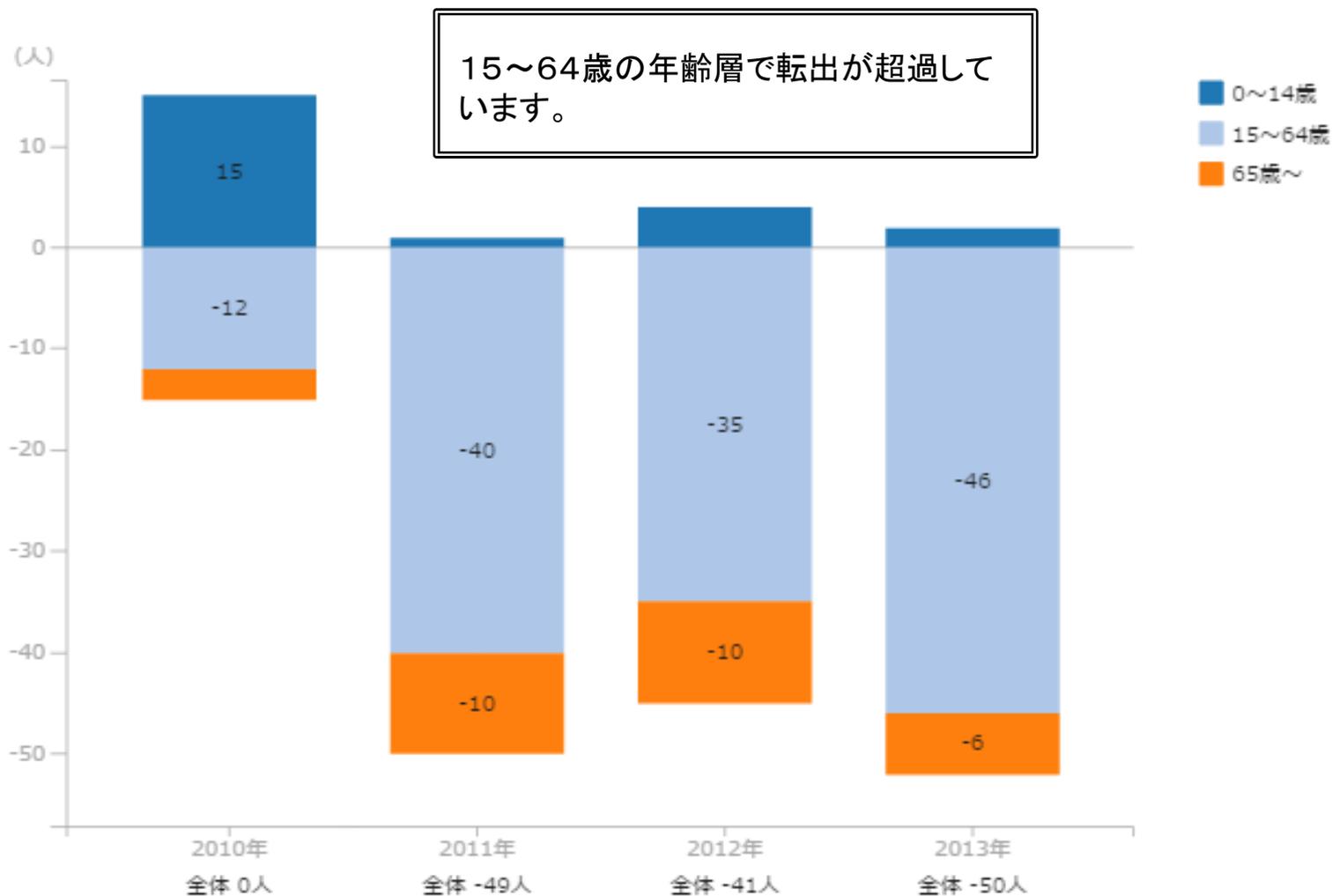
京都府和束町 合計特殊出生率と人口推移

下限：なし～上限：なし



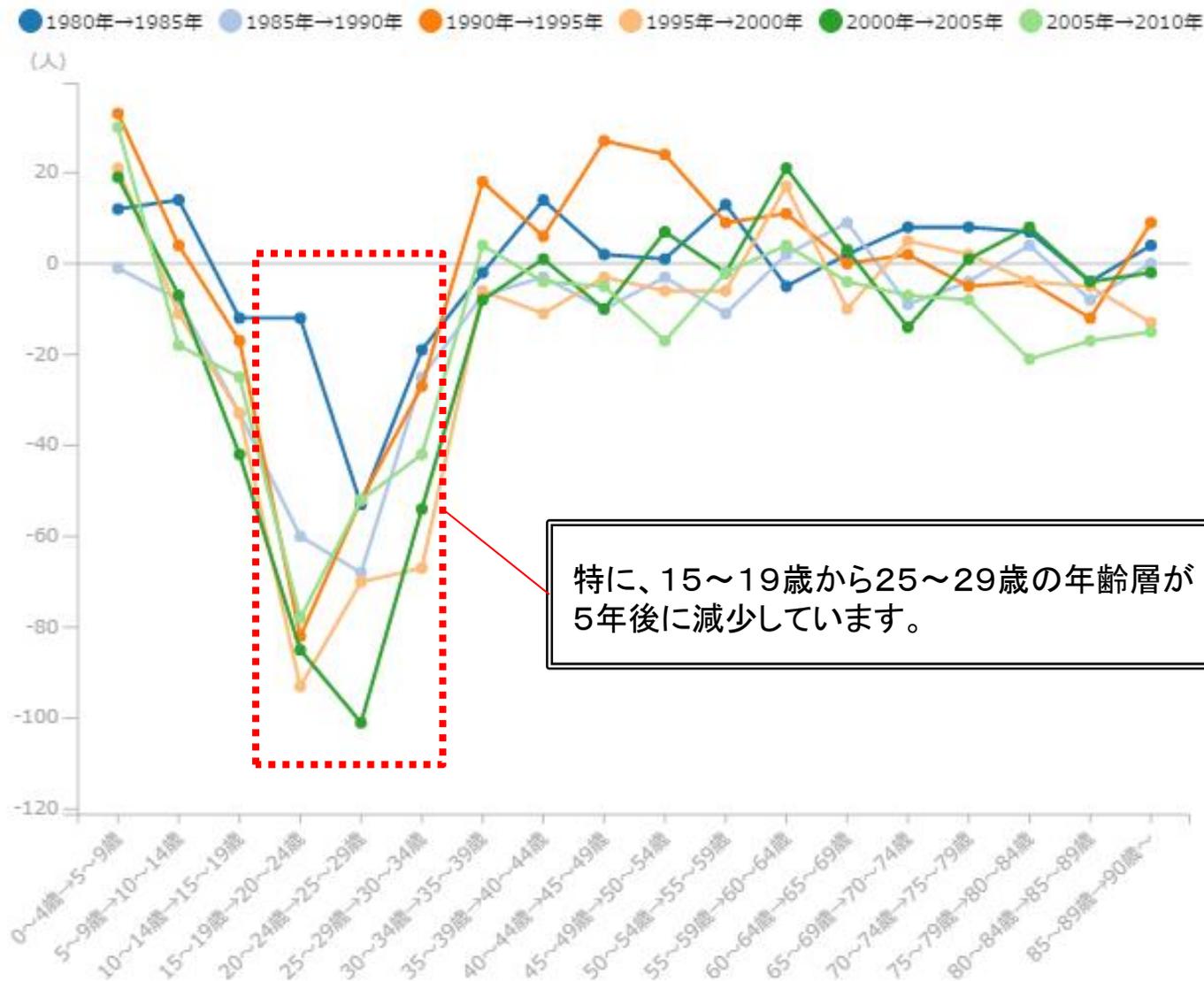
RESAS(地域経済分析システム)データによる分析

京都府和東町 年齢階級別純移動数



RESAS(地域経済分析システム)データによる分析

京都府和束町 年齢階級別純移動数の時系列分析

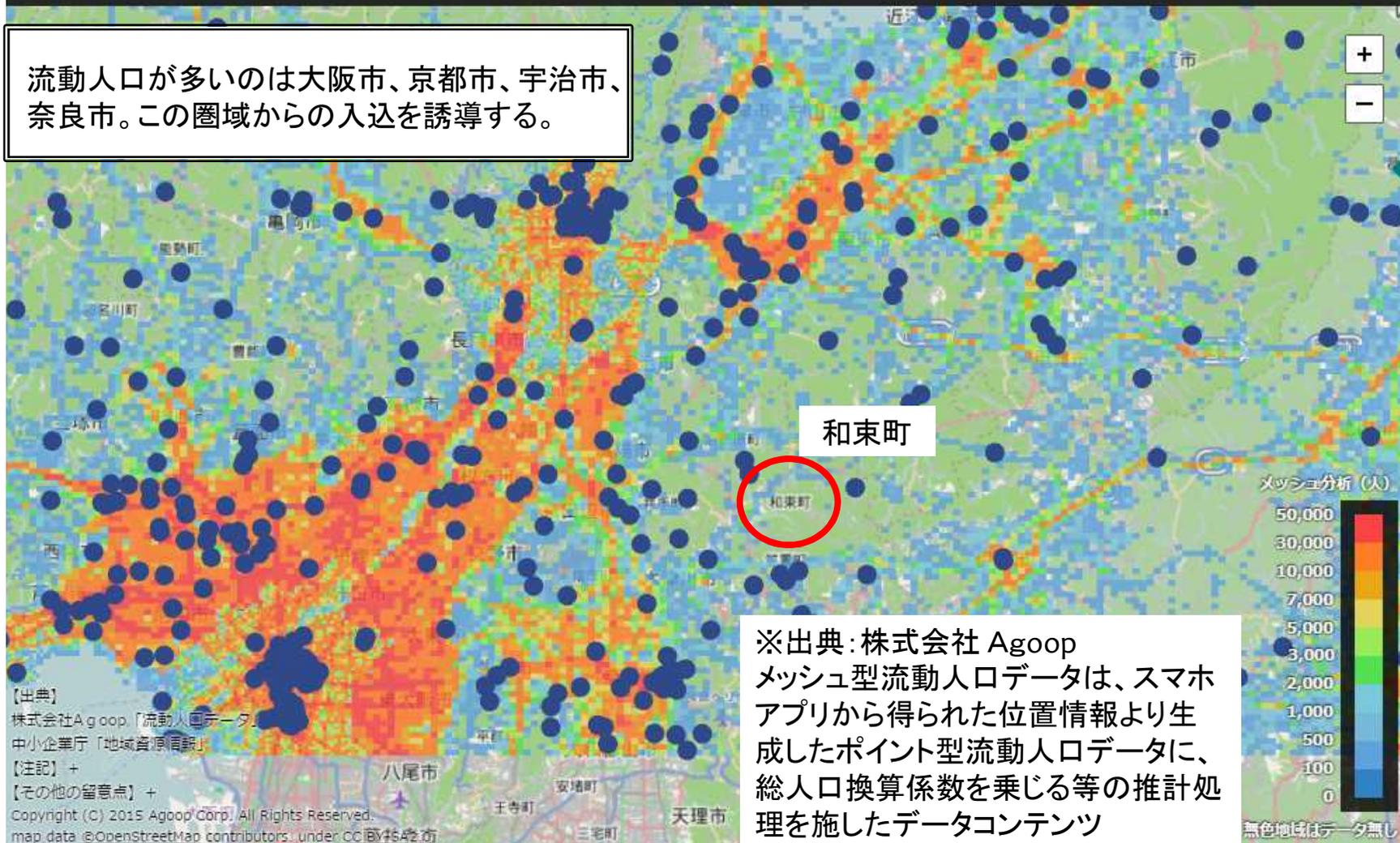


RESAS(地域経済分析システム)データによる分析

観光マップ

メッシュ分析(流動人口)

流動人口が多いのは大阪市、京都市、宇治市、奈良市。この圏域からの入込を誘導する。



※出典:株式会社 Agoop
メッシュ型流動人口データは、スマホアプリから得られた位置情報より生成したポイント型流動人口データに、総人口換算係数を乗じる等の推計処理を施したデータコンテンツ

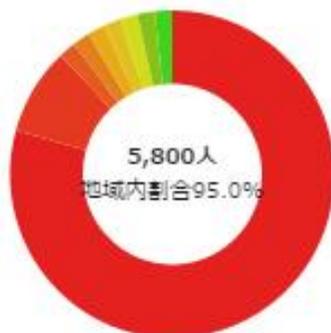
RESAS(地域経済分析システム)データによる分析

京都府和束町 休日
市区町村 → 市区町村

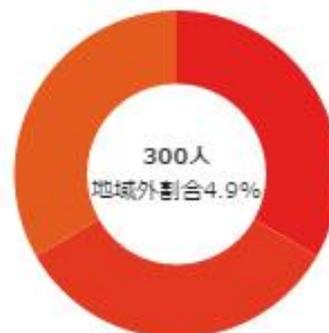
滞在人口の95%を
府内が占め、木津川
市500人、京都市30
0人などとなっている。

滞在人口合計：6,100人（滞在人口率：1.36倍）
（国勢調査人口：4,481人）

滞在人口 / 都道府県内
（市区町村単位）



滞在人口 / 都道府県外
（市区町村単位）



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 京都府和束町 4,600人 (79.3%)
- 2位 京都府木津川市 500人 (8.6%)
- 3位 京都府京都市左京区 100人 (1.7%)
- 4位 京都府笠置町 100人 (1.7%)
- 5位 京都府京田辺市 100人 (1.7%)
- 6位 京都府城陽市 100人 (1.7%)
- 7位 京都府宇治市 100人 (1.7%)
- 8位 京都府京都市伏見区 100人 (1.7%)
- 9位 京都府京都市右京区 100人 (1.7%)

滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 大阪府枚方市 100人 (33.3%)
- 2位 奈良県奈良市 100人 (33.3%)
- 3位 兵庫県神戸市須磨区 100人 (33.3%)

※滞在人口とは市町村単位で滞留時間が
2時間以上の人口。

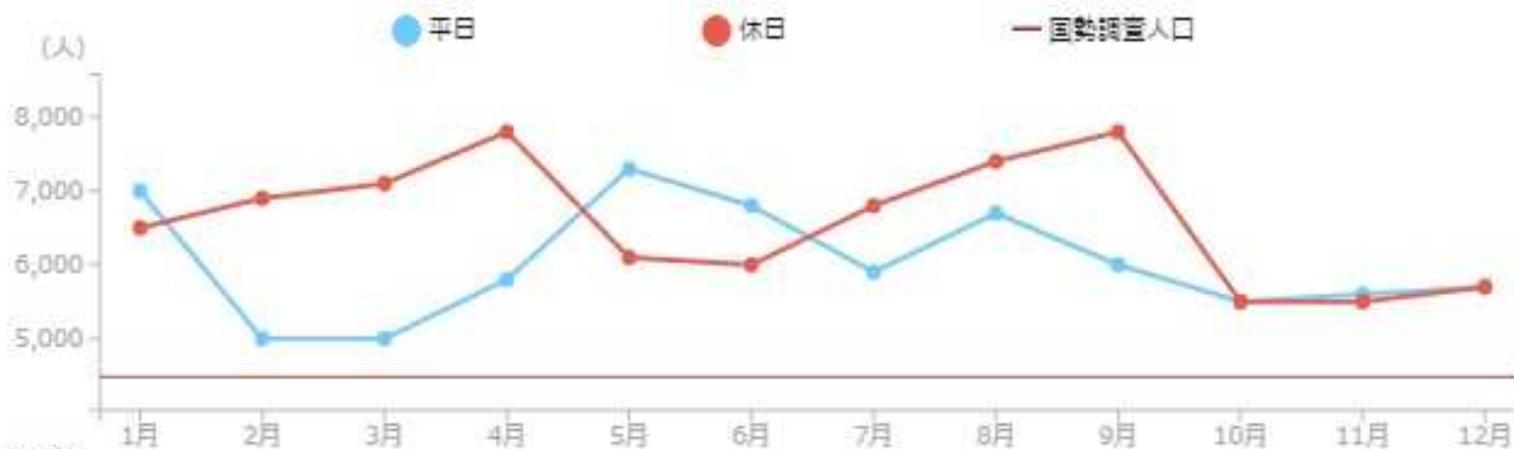
※出典：株式会社Agoop

RESAS(地域経済分析システム)データによる分析

4月や9月の休日の滞在人口は
8000人近い。

滞在人口月別推移

京都府和束町 2014年
(国勢調査人口：4,481人)



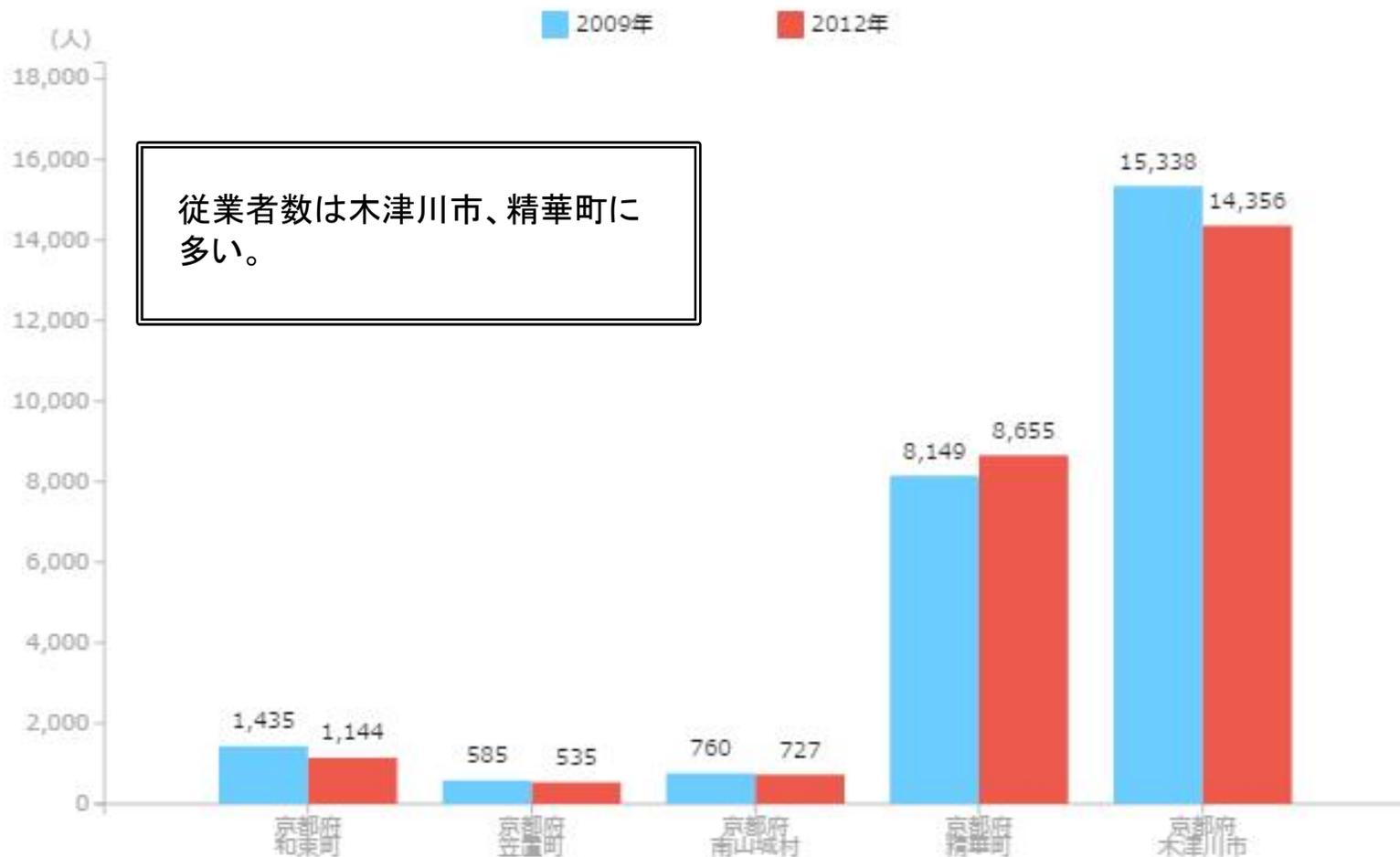
【出典】
株式会社Agoop「流動人口データ」

【注記】
滞在人口とは、市区町村単位で滞在時間が2時間の人口を表している。

RESAS(地域経済分析システム)データによる分析

従業者数(事業所単位)

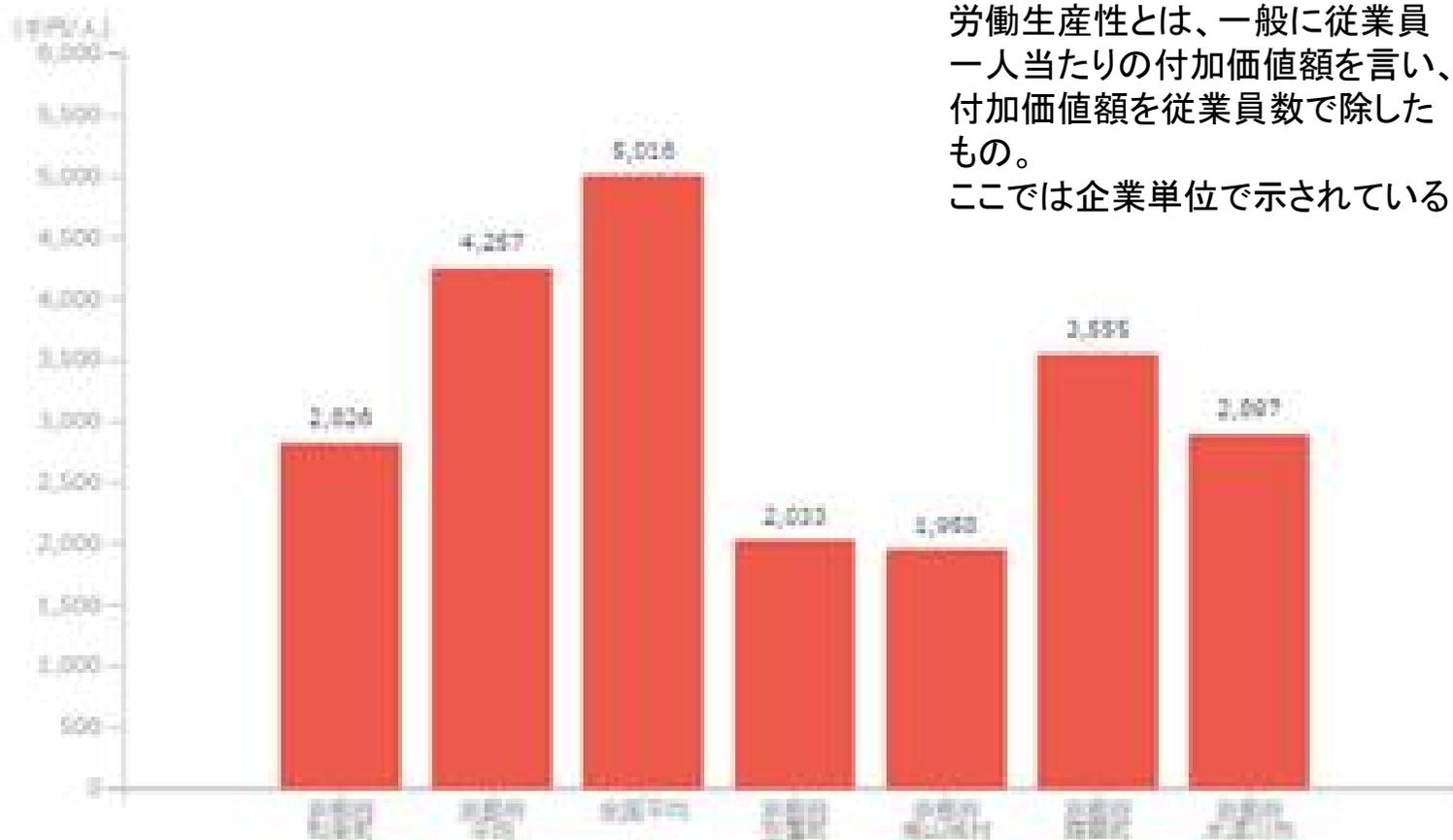
産業：すべての大分類 > すべての中分類



RESAS(地域経済分析システム)データによる分析

労働生産性(企業単位) 2012年

国別：すべての大分類 > すべての中分類



労働生産性とは、一般に従業員一人当たりの付加価値額を言い、付加価値額を従業員数で除したものの。
ここでは企業単位で示されている。

RESAS(地域経済分析システム)データによる分析

労働生産性(企業単位) 2012年

産業：農業、林業 > すべての中分類

